

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		緊急通報装置・火災警報器設置事業		課名	長寿支援課	事業No.	94
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称		
		戦略計画					
		分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
		法令・例規等			飯田市緊急通報システム運営事業実施要綱 飯田市高齢者等火災警報器設置事業実施要綱		
事業目的		対象	一人暮らし高齢者、要支援又は要介護者がいる高齢者世帯				
		意図	通報により緊急時に支援を求められることができるため、独居高齢者等が安全に暮らせる。火災警報器の設置により、火災の発生を本人及び近隣に知らせ、地域で支え合う体制を整える。				

2 事業内容

1年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・緊急通報装置設置事業は、申請者宅に緊急通報装置本体とペンダント型スイッチを設置し、高齢者等が急病等の緊急時にボタンを押すことで受信センターが利用者の安否確認やあらかじめ指定した近隣の協力員への連絡を行っています。 ・火災警報器設置事業では、安心して在宅生活が継続できるよう、火災警報機器を設置しました。		緊急通報体制整備事業 火災警報器設置事業				3,790 42				
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	緊急通報装置設置世帯件数 (既存)		件	280	241	250	225	250	219		
	火災警報器設置世帯件数 (新規)		件	10	3	10	5	10	2		
1年度 決算 (千円)	予算額		5,547	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,832	(そ) 緊急通報システム利用者負担金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	812								
一般財源		3,020									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	9	5,296	3,790	緊急通報装置設置事業費
2	1	3	1	4	14	10	251	42	火災警報器設置事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・緊急通報装置設置事業及び火災警報器設置事業は独居高齢者及び高齢者のみの世帯の安全を確保する上で効果的な事業と考えます。緊急通報装置は設置者の施設入所や死亡により、減少する一方で、新規設置者が少ない現状から総設置数は減少傾向にあります。このため、緊急通報装置の設置が必要と思われる方への継続的な事業周知が必要と考えます。							
上記の課題解決のための有効策		・本事業は各地区の民生児童委員を中心に、必要とされる方に周知を行っています。引き続き、民生児童委員等への制度説明を行い、必要とされる方への支援に繋がります。							
次年度に向けての取り組み		・高齢者の方が安全に暮らせられるよう、引き続き、緊急通報装置設置事業及び火災警報器設置事業を実施していきます。							